



2026年5月11日

各 位

会 社 名 **平河ヒューテック株式会社**  
代 表 者 名 代表取締役 篠 祐 一  
執行役員社長  
( コード番号：5821 東証プライム市場 )  
問 合 せ 先 総務部長 高 橋 秀 雄  
( TEL. 03-3457-1400 )

### 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2026年度～2030年度を対象期間とする中期経営計画を策定いたしましたので、お知らせいたします。

【添付資料】 Plan 600 中期経営計画 (FY2026~FY2030)

以 上

# Plan 600

## 中期経営計画（FY2026～FY2030）

平河ヒューテック株式会社

<https://www.hewtech.co.jp>

【証券コード : 5821】

平河ヒューテックの紹介	3	事業戦略 車載事業	15
価値創造プロセス	4	事業戦略 医療機器事業	17
事業環境認識	5	事業戦略 産業機器事業	19
マテリアリティの特定	6	事業戦略 ソーラーケーブル事業	21
マテリアリティと中期経営計画のリンケージ	7	事業戦略 HPC	22
連結業績の推移	8	財務戦略 キャッシュ・アロケーション	24
課題認識・各指標の推移 (ROE・PER・PBR)	9	財務戦略 バランスシートのイメージ	25
数値目標	10	経営基盤の強化	26
ROE改善計画	11	サステナビリティ・株主還元	27
事業別売上計画	12	ビジネスモデル	28
中期経営方針	13	事業内容	29
事業ポートフォリオ	14	グループの拠点	32

## 創業以来、つなぐ技術で 社会を支えてきた

平河ヒューテックは、電線・ケーブルを中心とした技術を通じて、社会や産業を支えるインフラを提供してきました。世界水準の製品づくり、法令遵守と環境保全、すべての関係者・機関に調和のとれた満足の提供、社会への貢献、そして向上・革新への挑戦。これらの理念を基に、持続的な成長を続けていきます。



2030年：世界水準の製品で  
成長市場を支える企業へ

2020年代：データセンター向け光複合ケーブル  
& 光ケーブル開発  
：特定用途向けネットワーク機器の売上伸長

2006年～2025年：上場及びグループ拡大を通じ  
事業体制を強化・拡充

2012年：スパコン「京」にケーブル採用

2002年：スパコン「地球シミュレータ」にケーブル採用

1998年：デジタル放送用向け光波長多重伝送装置の供用開始

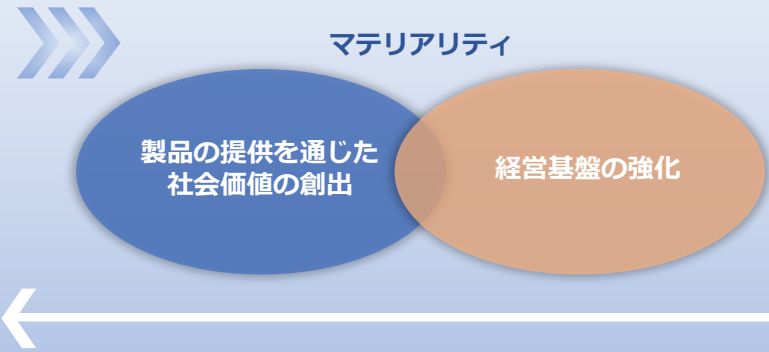
1983年：医療用血管内細経精密チューブの供用開始

1980年：海外展開開始と社名変更により事業のグローバル化を推進

1948年創業：電線の製造及び販売開始

## 社会の変化・トレンド

- ### 価値創造の源泉となる資本
- 技術の継承と革新を担う専門性の高いプロフェッショナル人材
  - 高品質・安定供給を実現するグローバルな生産ネットワーク
  - 高速伝送・材料配合・微細加工を核とした独自の技術力と知財
  - 多岐にわたる顧客産業との強固な信頼関係とサプライチェーン
  - 製品の根幹となる資源の効率的利用と環境負荷の低減
  - 成長投資を支える健全な財務体質と効率的な資本運用



## 世界水準の製品で成長市場を支える企業へ



車載事業、医療機器事業、産業機器事業、ソーラーケーブル事業をコア事業として成長を加速し高機能・高信頼の製品をグローバルに提供することで社会と産業の発展を支える企業を目指す

着目している社会の変化・トレンドは下記の通り



デジタル化  
AIの進展



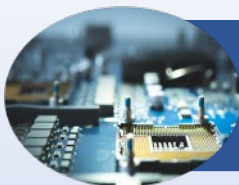
産業の自動化  
省人化



脱炭素  
資源循環



通信インフラ  
の高度化



半導体産業  
の高度化



サプライ  
チェーン  
分断



CASE  
車両電装化



医療・分析  
技術の高度化



高度人材  
の不足

社会価値創出に関する4つのマテリアリティ、経営基盤強化に関する3つのマテリアリティを下記のステップより特定

**ステップ1**

**マテリアリティ候補の洗い出し**

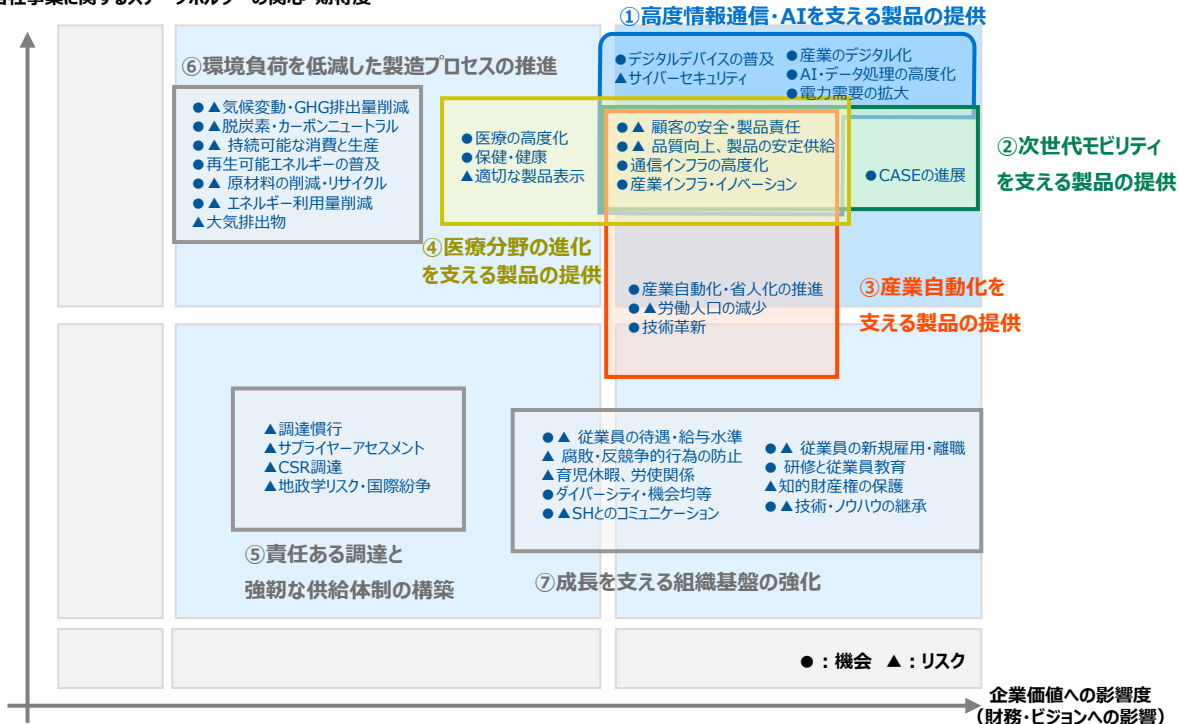
- GRI・SASBなどの各種ガイドラインや、ESG格付け機関の評価項目などを参考に、メガトレンドや社会課題の要素を幅広くリストアップ
- また、各事業を取り巻く環境や戦略を加味しながら不足要素を追加

**ステップ2**

**重要度の評価とマテリアリティの特定**

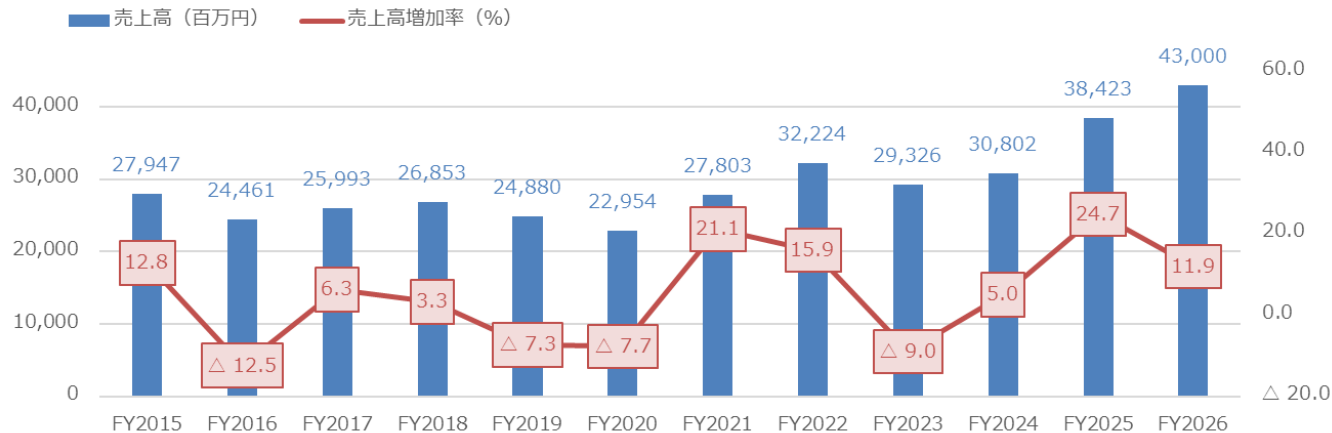
- 洗い出したマテリアリティ候補を重要度により重みづけ。当社の企業価値への影響と社会・ステークホルダーへの影響の観点から各項目の重要度を評価
- 重要度の高い項目をテーマごとに括り直し、マテリアリティとして特定

当社事業に関するステークホルダーの関心・期待度



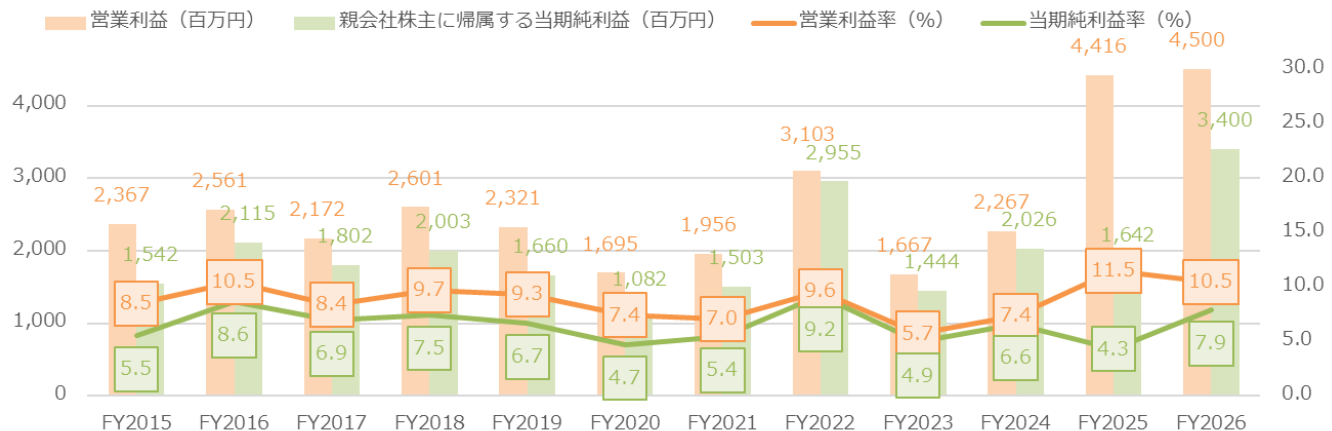
マテリアリティ	関連する社会課題・当社の課題	主な取り組み	
<b>製品の提供を通じた社会価値の創出</b> <b>①高度情報通信・AIを支える製品の提供</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI・データ処理の高度化</li> <li>デジタルデバイスの普及</li> <li>電力需要の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高速・高周波対応ケーブルの開発</li> <li>ソーラーケーブル事業の展開</li> <li>データセンター・ネットワーク機器向け部材開発</li> </ul>	P.21
<b>②次世代モビリティを支える製品の提供</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CASEの進展</li> <li>通信インフラの高度化</li> <li>顧客の安全・製品責任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車載用高周波同軸ケーブル開発</li> <li>高耐久・高信頼ケーブルの供給</li> <li>自動車通信システム向け部材提供</li> </ul>	P.15
<b>③産業自動化を支える製品の提供</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業自動化・省人化の推進</li> <li>労働人口の減少</li> <li>通信インフラの高度化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>FA機器向け高速伝送ケーブル提供</li> <li>マシンビジョン・産業機器向け配線ソリューション・高耐久ケーブル開発</li> </ul>	P. 19
<b>④医療分野の進化を支える製品の提供</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療の高度化</li> <li>適切な製品表示</li> <li>品質向上、製品の安定供給</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機器用ケーブル・チューブの開発</li> <li>分析機器向け高機能チューブ提供</li> <li>医療用途の品質保証体制構築</li> </ul>	P. 17
<b>経営基盤の強化</b> <b>⑤責任ある調達と強靱な供給体制の構築</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調達慣行</li> <li>地政学リスク・国際紛争</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学物質管理（RoHS・REACH対応）</li> <li>グローバル生産・供給体制の構築</li> </ul>	P. 27
<b>⑥環境負荷を低減した製造プロセスの推進</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>脱炭素・カーボンニュートラル</li> <li>再生可能エネルギーの普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギー効率向上</li> <li>廃棄物削減・リサイクル</li> </ul>	P. 27
<b>⑦成長を支える組織基盤の強化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術・ノウハウの継承</li> <li>研修と従業員教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成・技術教育</li> <li>内部統制・ガバナンス強化</li> </ul>	P. 26

# 連結業績の推移



## 売上高は近年増加傾向

- コロナの影響などにより低迷していた売上高はFY2021を境に大きく増加
- 特にFY2025は前年比で25%と大きく増加した
- 今期見込みは430億円に拡大



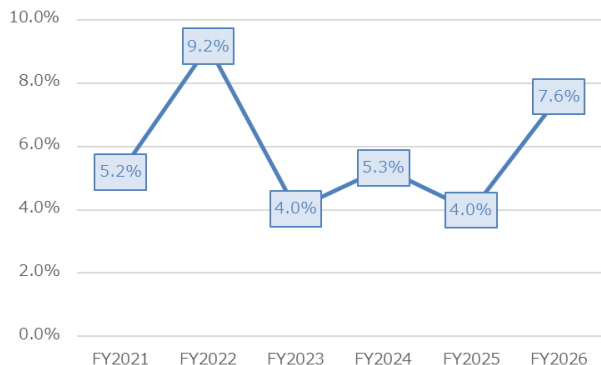
## 営業利益率も大きく改善

- 営業利益率はFY2023の低下から回復しFY2025は11.5%と大きく改善した
- FY2025の当期純利益の減少は減損2,471百万円の計上によるものであり、今期見込みは当期純利益34億円に増加

ROEが10%未満で推移しており、改善してもPERが低くなることでPBR1倍割れが続いていた

- ・ 実績として低収益であったことに加え、当社事業の魅力・成長性が十分に伝わっていなかった
- ・ 直近ではPBRは1倍を超えており、当社事業が評価されつつあると認識している
- ・ 今後は高収益と成長性を両立することにより株価指標の改善・維持を目指す

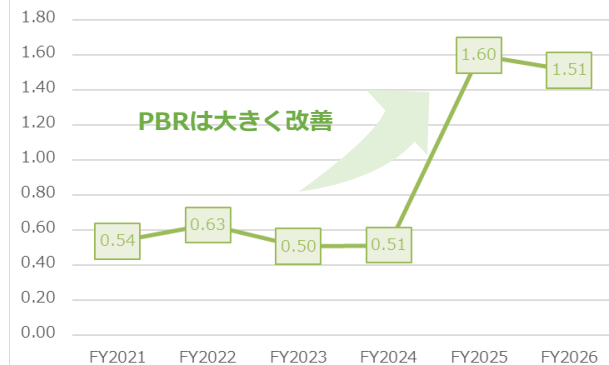
## ROE



## PER



## PBR

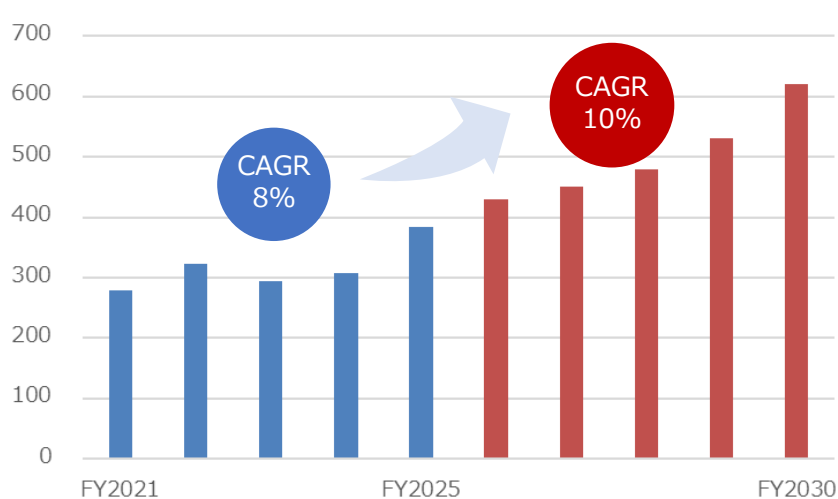


(注) PER、PBRのFY2025、FY2026は2026/5/7株価を基に各期の実績値・見込値から算出

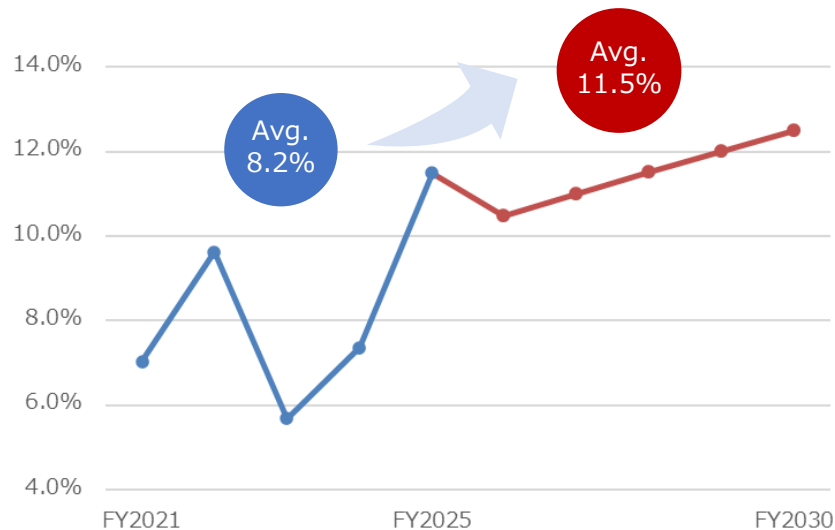
FY2030（90期）に売上高600億円以上、営業利益率12%以上を目指す

- 売上高成長率、平均営業利益率ともにFY2021-25よりもアップ

売上高（億円）



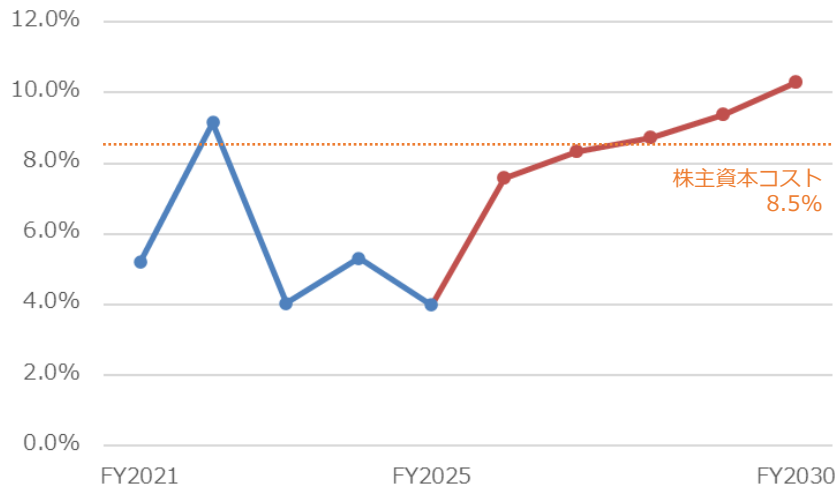
営業利益率



減損の影響によりROEが低下したが、主に利益面の改善からFY2030では10%以上を目指す

- Equity Spread (ROE - 株主資本コスト) はFY2027以降はプラスに転じる
- コア事業の拡大、適切なプライシング、販売管理費の抑制がポイント

## ROE

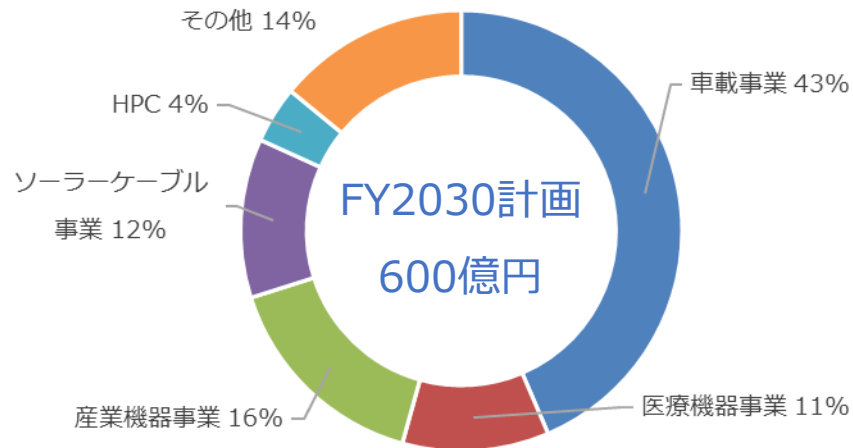
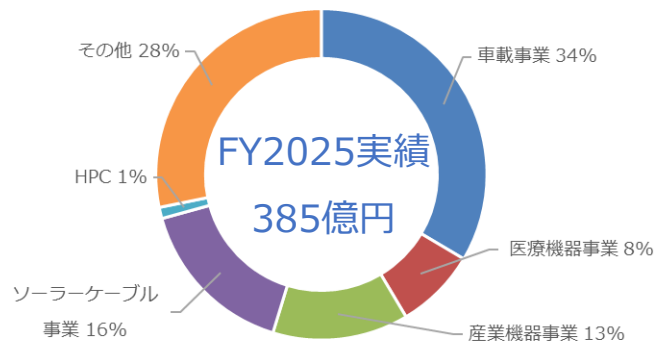


## Equity Spreadの改善

利益	<ul style="list-style-type: none"><li>• 高収益なコア事業の拡大により利益構成が改善</li><li>• 適切なプライシングにより各事業の収益性向上</li><li>• 売上拡大に対して販売管理費の伸びを抑制することで販売管理費率を低減</li></ul>
B/S	<ul style="list-style-type: none"><li>• 売上債権・棚卸資産の回転率アップ</li><li>• 適切な財務レバレッジ</li><li>• 成長投資とのバランスに配慮した適切な株主還元</li></ul>
資本コスト	<ul style="list-style-type: none"><li>• 開示拡充による理解促進</li><li>• 投資家との建設的な対話</li><li>• ガバナンスの強化</li></ul>

## コア事業（車載、医療機器、産業機器）が売上を牽引

- コア事業の割合が55%から70%へと拡大
- HPC の割合も1%から4%にまで拡大



FY2030数値目標

売上高 600億円以上

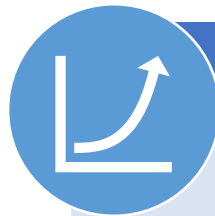
営業利益率 12%以上

ROE 10%以上



## 事業規模の拡大

- 事業ポートフォリオの選択と集中
  - コア事業（3プラス1）
  - HPCを機軸とした市場開拓
- 各事業の成長・M&A



## 収益性・資産効率の向上

- 高収益なコア事業の拡大
- 適切なプライシング
- 販売管理費率の低減
- 運転資産の効率化



## 経営基盤の強化

- グループ総合力の発揮
- 人的資本経営の促進
- ガバナンス強化



## サステナビリティ・株主還元

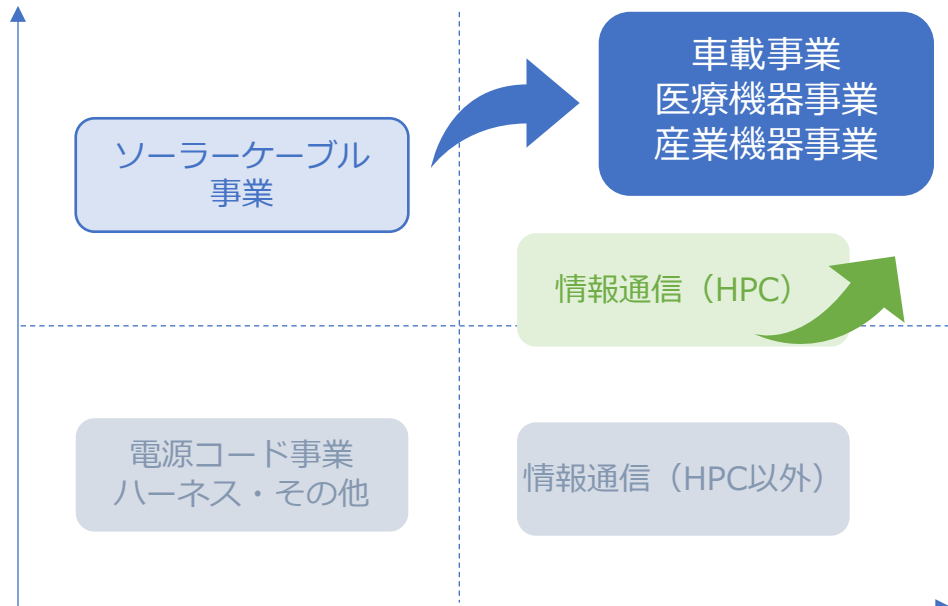
- 責任ある調達
- 環境負荷の低い製造プロセス
- 持続的上昇を実現する安定的な配当



## コア事業である車載、医療機器、産業機器に経営資源を集中して拡大

- ・ 成長が期待できるソーラーケーブル事業の収益性を高めコア事業へと育成
- ・ AIやIoTなど高速データ処理の需要増を背景にHPCをスケールアップ

成長性



### コア事業 (3プラス1)

- ・ 車載、医療機器、産業機器への集中
- ・ ソーラーケーブル事業の収益性を高めコア事業へと育成

### HPCを機軸とした市場開拓

- ・ 次世代のHPC (High Performance Cable) は様々な分野での活用が期待
- ・ 収益性は高いが、現状は事業規模が小さいのでスケールアップを図る

### 収穫 (収益性の維持・改善)



## 自動車用データケーブルはCASEの進展により高成長が見込まれ積極的に事業展開

- ADAS、カメラシステムに用いられる車載用同軸ケーブル需要の高まり
- SDVの進展を背景に高速通信を支える車載イーサネット用差動ケーブル導入が進む見込み

車載事業の主要な製造拠点は4カ所あり  
中でもフィリピン工場（HPE：HEWTECH PHILIPPINES ELECTRONICS）は事業拡大の要となる工場である。



### 生産キャパシティ増強・連携強化

- 製造設備投資を行い生産キャパシティを倍増
- グループ全体での最適な生産体制を構築
- HPEにて同軸ケーブルの受注を拡大し稼働率・収益性を向上

### 次世代ケーブルの開発・拡販

- 平河ヒューテック、四国電線それぞれの強みを活かしたグループ全体での開発力を強化
- 次世代マルチギガイーサネット用ケーブルの開発
- カーOEM、Tier1の新規開拓・受注拡大

## 関連する社会の変化・トレンド

次世代モビリティを支える  
製品の提供

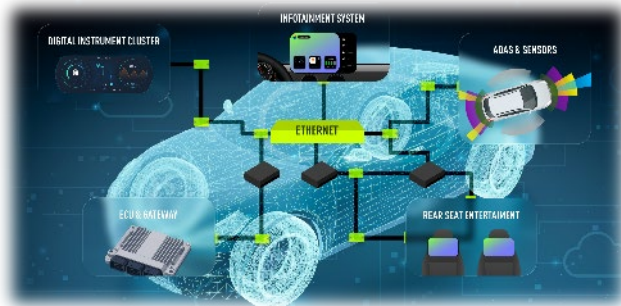


CASE  
車両電装化



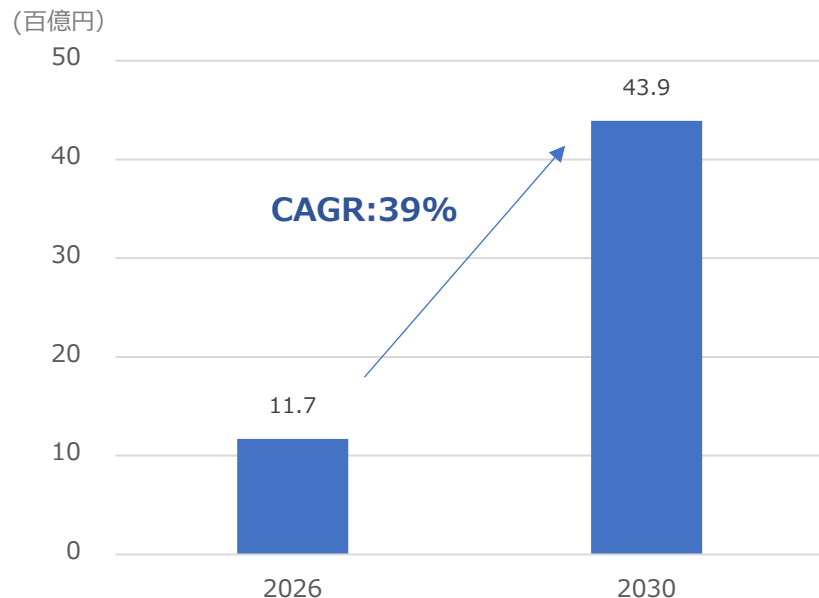
通信インフラ  
の高度化

### ■ 当社の取り組み | 車載用ケーブル（次世代差動ケーブル）の開発



- CASEが大きな転換期を迎え、自動車におけるデータ通信量の増加と高信頼な信号伝送への要求が一段と高まっている。
- 当社グループは、こうしたニーズに対応するため、次世代差動ケーブルの開発を進め、高速・高品質なデータ伝送を実現する。

### ■ 国内自動運転・コネクテッドサービス国内市場規模予測



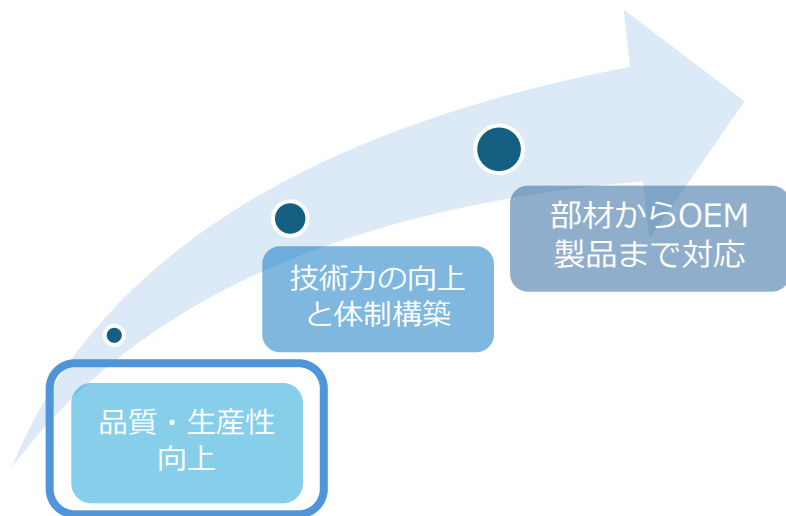
(出典) KPMG「2030年市場展望と人材要件：自動車（自動運転車・コネクテッドカー）」を基に作成



## 取扱領域・製品を拡大し、堅調な市場成長を取り込む

- 低侵襲治療の進化により、カテーテル市場は堅調な成長が見込める
- 感染管理、医療現場の効率化の観点から、リユースから DISPOSABLE への移行が進む

部材からOEM製品まで提供できる体制を構築し、お客様への利便性を追求、お客様と価値ある製品を共創していく。



現在(部材製造)

### 新領域・新製品開発

- 日系大手医療機器メーカーとの取引基盤を活用した受託製造
- 血管内検査器具等の新製品開発
- 血管・非血管領域への新規特性チューブの拡販

### 生産体制の強化・各種効率化

- 製造設備投資を行い生産能力・生産効率の向上（古河工場、桃生工場、HEWTECH PHILIPPINES、連雲港）
- ISO13485規格認証を活かした生産戦略
- 品質管理の強化、不良率の低減
- 原価低減、リードタイム短縮

## 医療分野の進化を支える 製品の提供

関連する社会の変化・トレンド



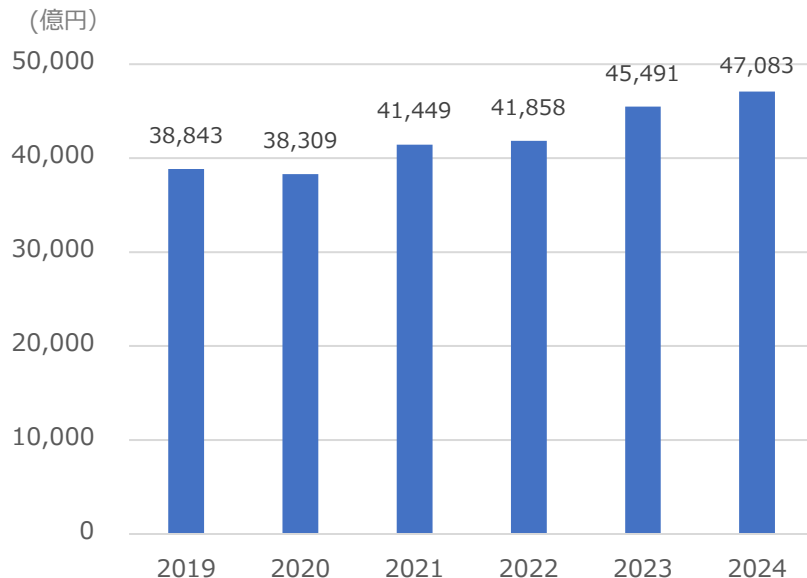
医療・分析  
技術の高度化

### ■ 当社の取り組み | 医療機器用ケーブル・チューブの提供



- 医療の高度化や低侵襲化の進展に伴い、医療機器における高精度かつ高信頼な信号伝送と流体制御への要求が高まっている。
- 当社グループは、高い安全性・耐久性を備えた医療機器用ケーブル・チューブの提供を通じて医療現場の高度なニーズに対応していく。

### ■ 医療機器の国内出荷高（2019～2024年）



(出典) 厚生労働省「薬事工業生産動態統計」を基に作成

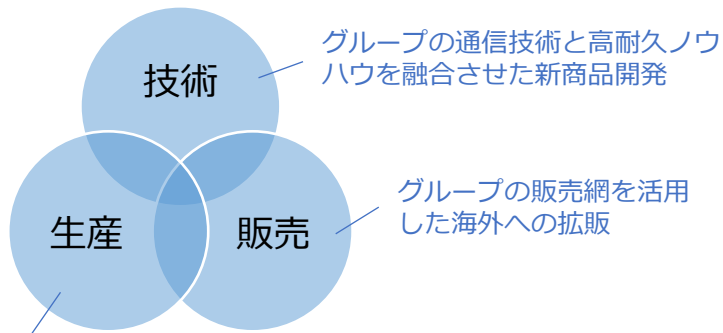


## 自動化・省人化ニーズより産業ロボット、マシンビジョン、半導体の需要が拡大

- 2025年に吉野川電線を買収・子会社化し産業ロボット向けを強化・拡大
- マシンビジョンは単なるセンサーに留まらず、産業機器の高度化を実現するための起点となるインターフェース
- 産業の裾野が広いため今後も積極的なM&Aを推進

### 産業ロボット

- 多品種少量需要に対応した高可動部用ケーブルが強み
- 製造設備投資を行い受注生産体制を拡充  
(ケーブル、ハーネス加工)
- グループ内シナジー効果により成長拡大



グループでの共同購入・OEM生産によるコストダウン、生産能力の向上

### マシンビジョン

- 半導体、医療・薬品、食品、化粧品市場がターゲット
- 国内・アジアを中心に欧州も含めたワールドワイドに拡大
- マシンビジョンカメラ用ケーブルの製造・加工を拡販

### 半導体

- 半導体検査・製造装置メーカーに対する同軸ケーブル、モジュール化製品の拡販
- 日系の業界大手を重点顧客とし、海外メーカー（台湾、韓国）へも展開
- 製造設備投資を行い生産キャパシティを増強

## 産業自動化を支える 製品の提供

### 関連する社会の変化・トレンド



産業の自動化  
省人化



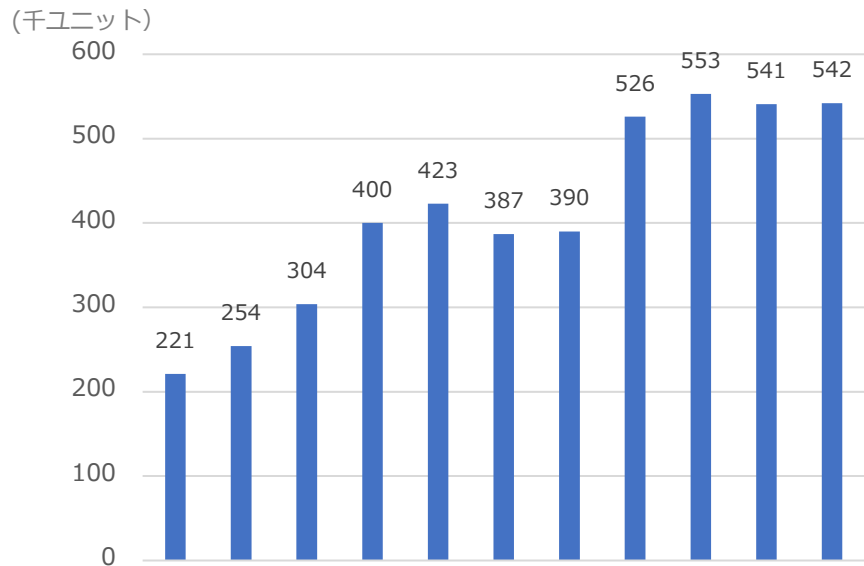
半導体産業  
の高度化

### ■ 当社の取り組み | マシンビジョン・FA領域製品の提供



- ・ 製造業における自動化・高度化の進展に伴って、マシンビジョンをはじめとする高精度なデータの取得・制御ニーズが高まっている。
- ・ 当社グループは、マシンビジョン向け製品の提供に加えて、FAケーブル、ロボットケーブルを通じて、安定した信号伝達と高い耐久性を実現する。

### ■ 世界の年間産業用ロボット導入台数の推移

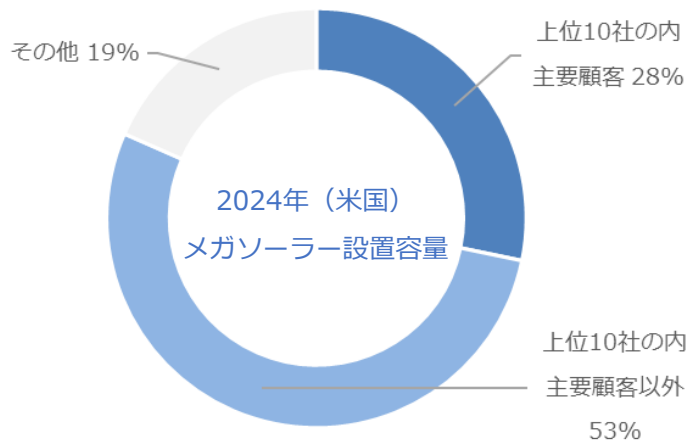


(出典) International Federation of Robotics 「World Robotics 2025」を基に作成

## 高成長が続く米国のメガソーラー産業において確固たる「HIKAM」ブランドを確立

- 有力なEPC事業者との関係強化・ビジネス拡大
- 米国の旺盛な電力需要を背景にさらなる成長へ

メガソーラー設置容量の約8割は上位10社が占めており、トップ10常連の有力EPC事業者4社を主要顧客としている。主要顧客のシェアは3割近くあり拡大余地は大きい。



(出典) Solar Power Worldを基に作成

### EPC事業者を重視するメリット

- トップ10に入るEPC事業者の高い成長率（年率15%以上）
- 最先端技術の習得（新商品開発、既存商品の改良）
- ディストリビューター向けに比べ高収益で安定的
- 業界知名度アップ、大手ディベロッパーとの取引機会

### コスト競争力の強化・生産キャパシティ増強

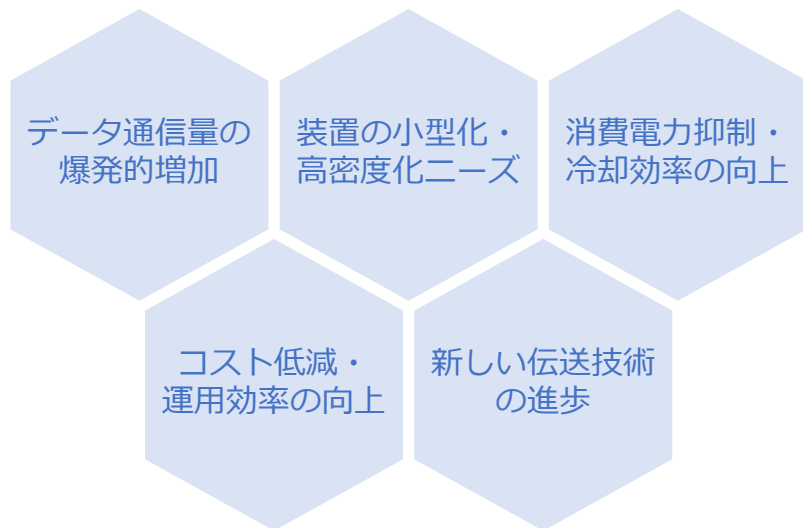
- 米系競合メーカーよりコスト競争力は高い
- 材料コスト削減、生産効率アップにより収益性を向上
- メキシコ工場の設備投資・拡張、ハーネス製造開始
- 大型化する案件需要に対応



## 情報通信の高速化ニーズを支えるHPC（High Performance Cable）を機軸とした市場開拓

- データセンター、サーバ、ストレージ、半導体、計測器、医療機器が有望なターゲット市場
- エッジコンピューティングの普及拡大によりマーケットの裾野が拡大
- 進化し続けるPCIeの先行開発を進めて世界トップの地位を継続

「より多くのデータを、限られたスペースと低コストで、高速・高品質に伝送したい」というニーズが高まっているため、高速化・高密度化を実現するHPCの需要増大。



### 進化し続けるPCIeの先行開発

- データセンターや高性能サーバ、ネットワーク機器等で使用される差別化製品の開発
  - Slim SAS HD（高密度・高速伝送対応のストレージ用ケーブル/コネクタ規格）
  - CDFP（高密度・高速伝送対応のプラグブルI/Oインターフェース規格）
- PCIeボードメーカー大手との良好な関係を構築

### 量産体制の構築・生産キャパシティ増強

- データセンター、サーバ、ストレージへの参入に向けた増産対応
- 量産体制の構築による製品の信頼性担保

## 関連する社会の変化・トレンド

高度情報通信・AIを支える  
製品の提供



デジタル化  
AIの進展



通信インフラ  
の高度化

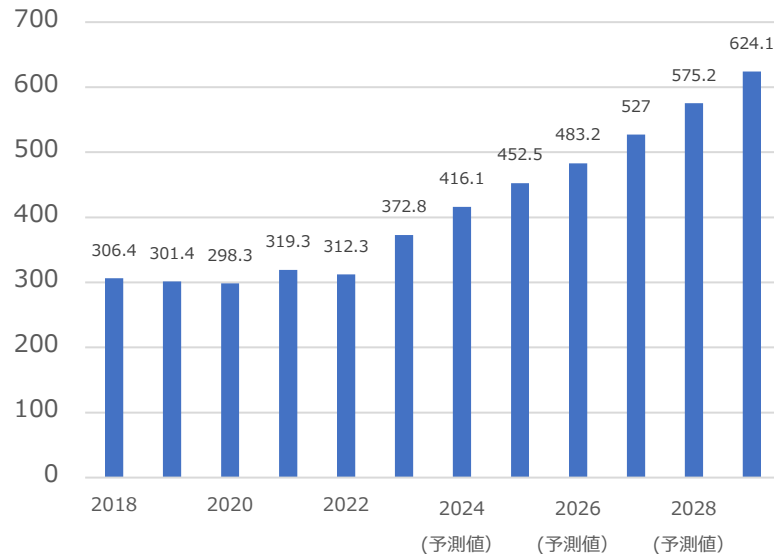
## ■ 当社の取り組み | ソーラーケーブル事業の展開



- AI普及に伴うデータセンターの拡大などにより、電力需要は今後一層増加することが見込まれる。
- 当社グループは、HIKAMのソーラー事業を通じて、再生可能エネルギーの供給拡大に貢献し、電力需要の増大を持続可能な形で支えていく。

## ■ 世界のデータセンター市場規模（売上高）の推移及び予測

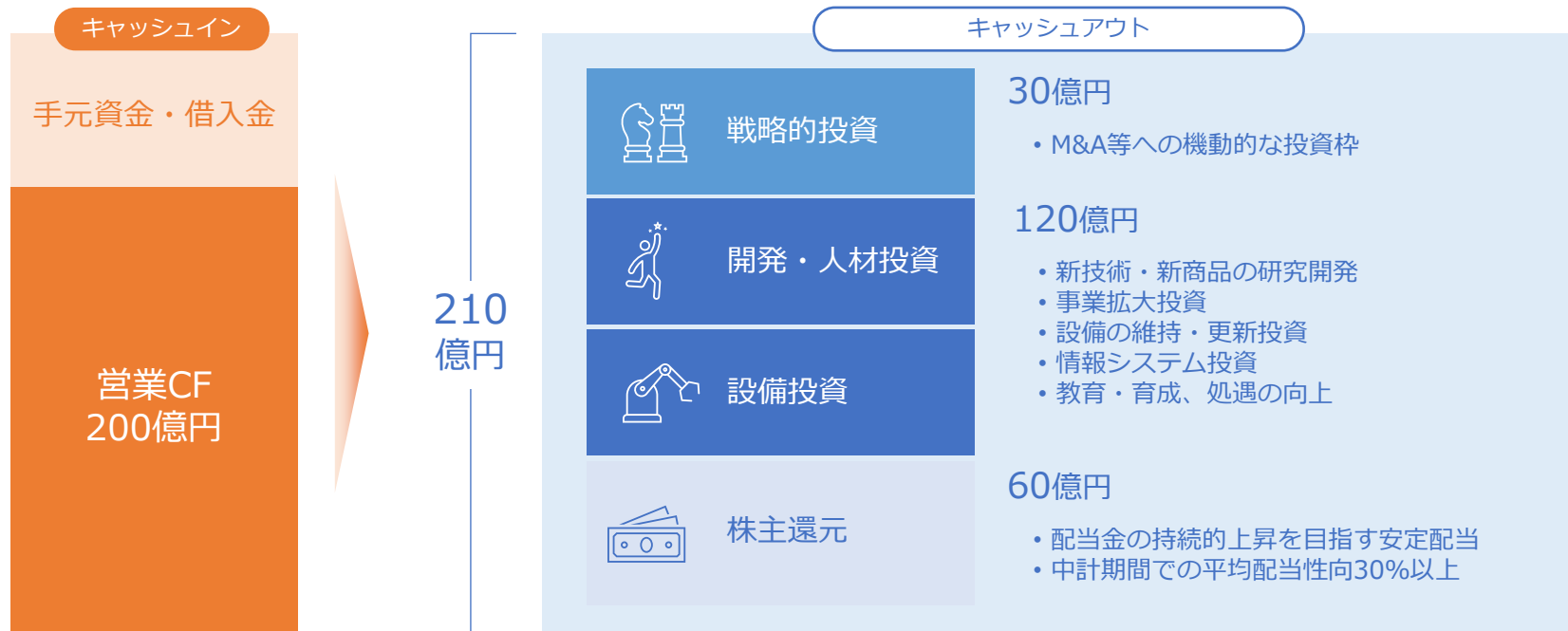
(十億ドル)



(出典) 総務省「令和7年版 情報通信白書」

## 積極的な成長投資と安定的な株主還元とを両立

- 中計期間（FY2026-30）の営業キャッシュフローは累計200億円以上を計画
- 手元資金・借入金を活用と合わせて、計210億円の成長投資・株主還元を行う



## 成長投資による総資産の拡大

- 設備、M&Aなどへの成長投資
- キャッシュ・コンバージョン・サイクルの短縮
- 将来の投資・リスクに備え、適切な株主還元とのバランスを実現する資本構成

566億円 (FY2025)

現金及び預金 179	有利子負債 52
	その他の負債 78
その他の流動資産 211	純資産 436
有形固定資産 124	
無形・投資その他 52	



759億円 (FY2030)

現金及び預金 180	有利子負債 62
	その他の負債 92
その他の流動資産 316	純資産 605
有形固定資産 181	
無形・投資その他 82	



## グループ本社機能の強化・グループ共通基盤の再整備によりグループ総合力を発揮

- ・ SBUによるポートフォリオマネジメント、グループ基幹システムの入替え
- ・ 教育投資の拡充、多様性促進などによる人的資本経営の推進

### グループ総合力の発揮

- ・ グループのHQ（Head Quarters）として本社機能・体制を強化し、グループ戦略・マネジメントを推進
- ・ 各法人に分散している機能の内、統合・連携により効率化が図れるものはグループ共通基盤として再整備

### ガバナンス強化

- ・ SBU（Strategic Business Unit）に基づくポートフォリオマネジメントの推進
- ・ グループ基幹システムの入替え
- ・ 情報システム体制、セキュリティの強化
- ・ 持続的成長のための体制づくり

### 人的資本経営の促進

- ・ 教育投資の拡充（幹部候補育成、全社ベーシック研修）
- ・ 処遇の向上（給与体系・諸手当の見直し）
- ・ 多様性の促進（海外人材、女性活躍促進）



当社グループ管理職に占める女性の割合 FY2024 20%

S等級研修会  
(対象：管理職等級前の主任や係長クラス)



3年目研修会（対象：入社3年目）



管理者協議会（対象：管理職）

## メーカーとして責任ある調達と環境負荷軽減を重要課題と捉え的確な対応を進める

- 製品の安全性、地政学リスクを踏まえたサプライチェーンの強靱化
- 株主還元も持続的な継続を意識した安定配当を継続

### 責任ある調達

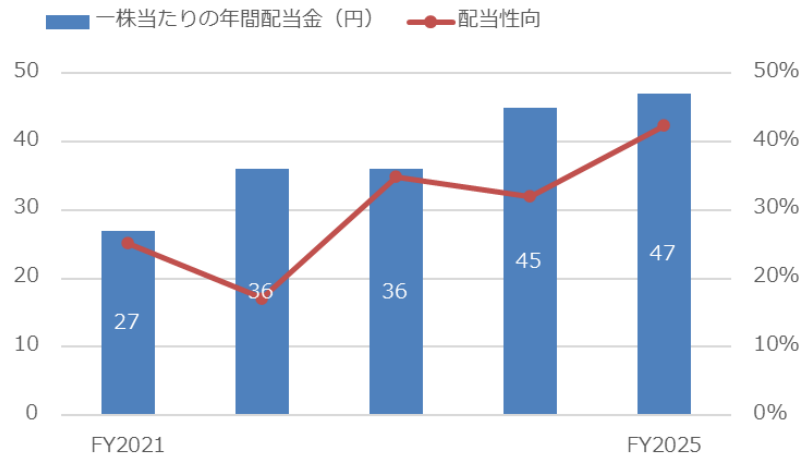
- 化学物質管理（RoHS・REACH対応）を徹底し安全な製品であることを保証
- グローバル生産・供給体制を整備し地政学リスクを最大限軽減する強靱なサプライチェーンを構築

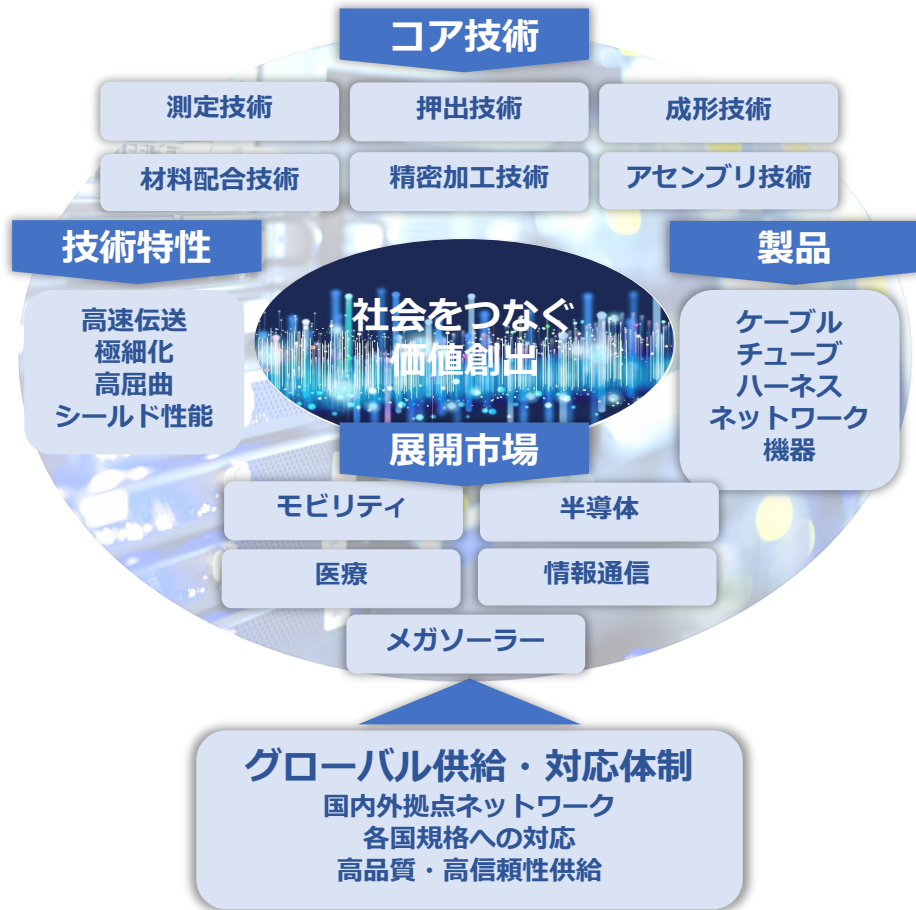
### 環境負荷の低い製造プロセス

- 再生可能エネルギーの活用、省エネ性能の高い設備導入等による製造プロセスでのエネルギー効率向上
- 製造時の廃棄物を削減し、原材料リサイクルを徹底することで環境負荷を軽減

### 持続的上昇を実現する安定的な配当

- 配当性向の平均値（直近5期）は30%
- 安定配当により、配当金の持続的な上昇を目指す



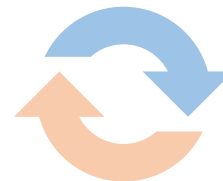


ニーズを満たす  
独自の製品展開



顧客・市場ニーズ

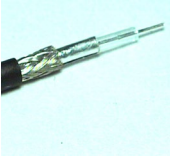




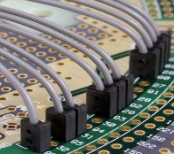
顧客の生み出す  
製品・サービス

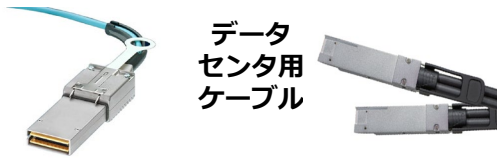

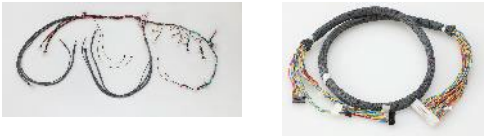



新たな社会課題

様々な業種の顧客

持続可能な豊かな未来

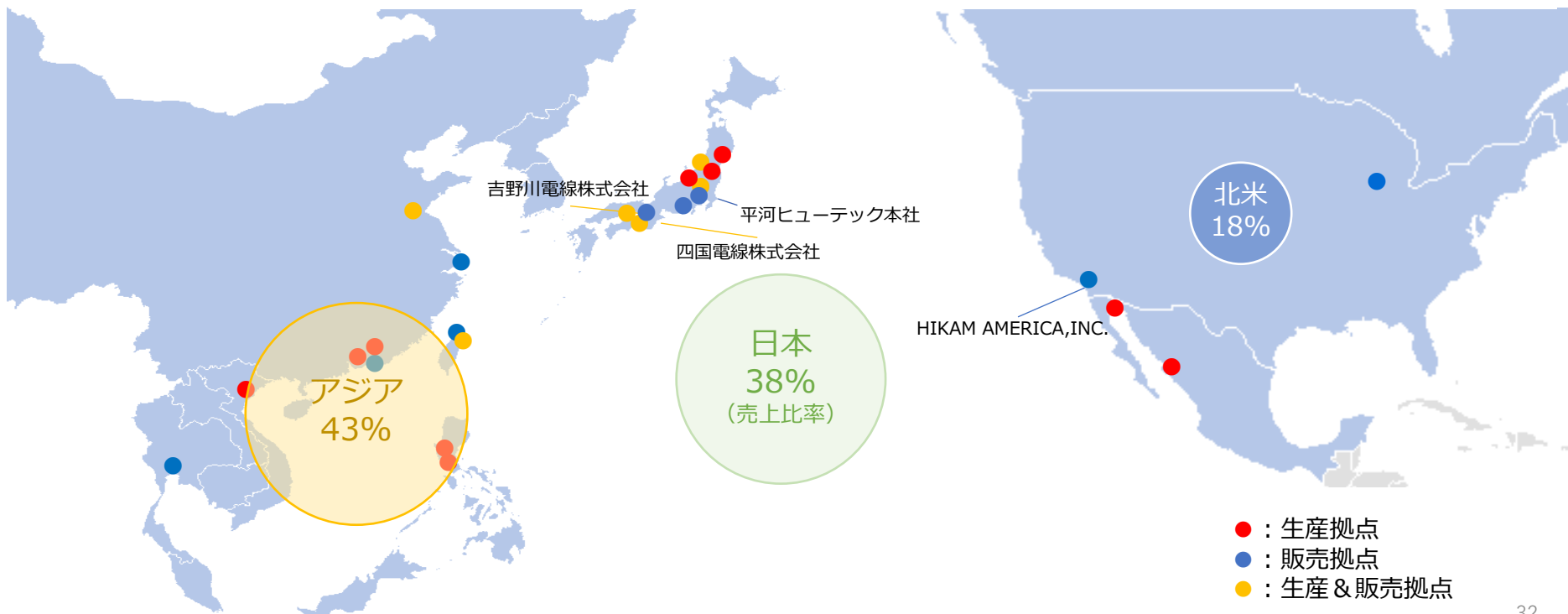
	事業内容	関連先	製品例	
<b>車載事業</b>	自動車の電動化・高度化に伴い高度化する車載通信・電装領域に対し、高速伝送・耐環境性能を備えたケーブルおよび接続部材を提供。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平河ヒューテック車載事業部</li> <li>福泰克(連雲港)電子有限公司</li> <li>HEWTECH PHILIPPINES ELECTRONICS CORP.</li> <li>四国電線</li> <li>四国電線(東莞)有限公司</li> <li>SHIKOKU CABLE VIETNAM LIMITED</li> </ul>	<b>車載用同軸ケーブル</b>	 <b>車載用高速伝送ケーブル</b> 
<b>医療機器用ケーブル事業</b>	医療機器の高精度化・小型化に対応し、高信頼性・安全性が求められる医療分野向けに極細ケーブルおよびアセンブリ製品を提供。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平河ヒューテックケーブル事業部</li> <li>福泰克(連雲港)電子有限公司</li> </ul>	<b>内視鏡用ケーブル</b>	 <b>医療機器用極細ケーブル</b> 
<b>産業機器事業</b>	半導体製造装置やFA機器等の高度化に対応し、耐屈曲・耐熱・耐環境性能を備えたケーブルおよび接続ソリューションを提供。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平河ヒューテックケーブル事業部</li> <li>福泰克(連雲港)電子有限公司</li> <li>吉野川電線</li> </ul>	<b>ロボットケーブル</b>	 <b>半導体装置用ケーブル</b> 

	事業内容	関連先	製品例
<p>情報通信事業</p>	<p>データセンターや高性能計算（HPC）、スイッチングハブ、映像・音声伝送機器等の高度情報通信分野向けに、高速・大容量伝送に対応したケーブルを提供。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平河ヒューテックケーブル事業部</li> <li>ConnPro Industries Inc.</li> <li>福泰克(連雲港)電子有限公司</li> <li>HEWTECH PHILIPPINES ELECTRONICS CORP.</li> </ul>	<p>高速伝送ケーブル</p> <p>データセンター用ケーブル</p> 
<p>ソーラーケーブル事業</p>	<p>太陽光発電システム向けのケーブル・接続部材を提供。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HIKAM AMERICA, INC.</li> </ul>	<p>太陽光発電用ケーブル</p> 
<p>ハーネス事業</p>	<p>顧客仕様に応じたワイヤーハーネスの設計・製造を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平河ヒューテックケーブル事業部</li> <li>新潟電子</li> <li>福泰克(連雲港)電子有限公司</li> </ul>	<p>ワイヤーハーネス</p> 
<p>電源コード事業</p>	<p>産業・医療機器向け等の電源コードを提供。</p> <p>各国規格に対応した製品展開でグローバルに供給。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平河ヒューテック電源コード事業部</li> <li>福泰克(惠州)電子有限公司</li> </ul>	<p>電源コード</p> 

	事業内容	関連先	製品例
<p>電子機器事業</p>	<p>時刻同期（PTP）、船舶の自動運航向けレーダー、物流の高度化を支えるインテリジェントネットワーク機器を提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平河ヒューテックデバイス事業部</li> <li>福泰克（惠州）電子有限公司</li> </ul>	<p>光伝送装置</p> 
<p>医療部品事業</p>	<p>医療の高度化・低侵襲化の進展を背景に、高精度で安全性および耐久性に優れた体内挿入用医療機器向けチューブを提供。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平河ヒューテックME事業部</li> <li>HEWTECH PHILIPPINES ELECTRONICS CORP.</li> <li>HEWTECH PHILIPPINES ELECTRONICS CORP.</li> </ul>	<p>医療用特殊チューブ</p> 

世界8つの国と地域にグループ会社20社を展開、グローバルな製造・販売網を構築

・ 連結従業員数 2,321名 (2026年3月末時点)





HIRAKAWA HEWTECH CORP.

**ご清聴ありがとうございました**

**【資料お問い合わせ・ご質問先】**

平河ヒューテック株式会社

IR担当：総務部総務グループ 篠田

メール：[soumu@hewtech.co.jp](mailto:soumu@hewtech.co.jp)